

広  
報

# びらとり

2012年

11

No.620

第42回剣道スポーツ少年団日高大会（町民体育館 11/4）



第42回剣道スポーツ少年団・日高大会  
平取義経剣心会  
主幹 互野友裕  
雲外蒼天

※平取中学校3年 互野友裕さんの書いた「雲外蒼天」の文字が入った日本手ぬぐいが参加者に配られました。

今月号は…

- 平取町功労者・永年勤続者表彰式
- 各地区で文化祭が開催されました
- まちづくり課からのお知らせ
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか



# 平取町功労者・永年勤続者表彰式



11月3日、中央公民館で平成24年度功労者・永年勤続者表彰式が行われました。各分野の被表彰者と功績などは次のとおりです。(敬称略)

## 産業経済功労



田中 武吉  
(日高町)

永きにわたり森林組合の参事又は専務理事を務め、民有林事業拡大など町の林産業の振興発展に寄与した功績は誠に大きなものがあります。



山崎 雄一  
(苧菜)

永きにわたり平取町農業協同組合の理事、平取町畜産公社取締役を務められたほか、「びらとりトマト」を早くから手掛け、生産者としても産地形成に大きな役割を果たされています。

## 奨励賞



二谷 優吾  
(貫気別)

永きにわたり平取町農業協同組合監事、沙流土地改良区理事を務められたほか、農業青色申告会の会長として、正しい税務申告に導いた功績は誠に大きなものがあります。



西島 達夫  
(貫気別)

社団法人北海道アイヌ協会本部、及び支部で永きにわたり要職を務め、北海道全体のアイヌ福祉向上や協会発展に寄与されているほか、人権擁護委員として、その普及啓発に尽力されている功績は誠に大きなものがあります。

## 永年勤続者



平取義経剣心会

第36回北海道少年剣道練成大会、第54回赤胴少年練成大会で優勝を果たし、同一年度において二度の全国大会出場において、出場選手はもとより、指導者を含む全員のチームワークと精進の賜物であり、このことはスポーツ団体の模範となるものです。

## 永年勤続者

### 農業委員

山野 勉 (小平) 12年  
田村 秋雄 (苧菜) 12年

### 消防団員

白井 勝博 (本町) 45年  
高橋 一夫 (長知内) 35年  
互野 勝弘 (貫気別) 25年

### 交通安全指導員

辻 とも (貫気別) 15年  
笠山 茂樹 (旭) 15年  
戸城 健一 (岩知志) 15年  
川上 尚人 (岩知志) 15年  
川奈野 只彦 (小平) 15年  
江谷 淳一 (貫気別) 15年  
高橋 健治 (岩知志) 15年  
坂本 秀司 (苧菜) 15年  
草薙 正志 (振内町) 15年  
松原 邦彦 (岩知志) 15年  
松村 俊三 (本町) 45年  
樫野 公 (振内町) 35年  
木田 義昭 (振内町) 25年  
川端 春夫 (振内町) 15年



表彰の様子

# 各地区で文化祭が開催されました

今年の文化祭も各地域で賑やかに開催されました。個人や、サークルなどの団体による文化的な作品のほか、本町地区ではお茶席、ピアノ発表会、芸能発表会。振内地区ではパソコン体験、芸能発表会。貫気別地区ではうまいもの市・物産展が催され、それぞれ特色のある会場になりました。

## 本町地区



## 貫気別地区



## 振内地区



11月3日、振内文化協会では設立40周年を記念して祝賀会が開かれました。

文化協会のこれまでの功労・感謝を祝い、祝宴では40年間の歩みを上映しました。

昔懐かしい街並みや、旧劇場での芸能発表会の映像に喚声があがり、当時を懐かしみながら、和やかな会となりました。

今後も、ますますのご発展をご祈念いたします。

## 冬期、自宅居住が困難な高齢者又は障がい者世帯向けに 冬期限定の一時住宅を提供します

面積が広い平取町では、冬期になると病院への通院が困難になったり、住宅が老朽化しているため、日常生活が困難になったりするなど理由で、身内の方の自宅に一時居住するなどをしながら冬期の生活をされている方がいます。

しかし、ひとり暮らしで身を寄せる親族がいなく、命の危険も考えられるような厳しい冬の生活を余儀なくされる方がいるなど、新しい課題も表面化してきました。

### ☆冬期限定の住宅を提供

役場庁舎横にある町職員住宅は、昭和38年に建築された大変古いものであり、老朽化も著しく、居住するには危険であったため、使用を中止していました。

町では、この住宅を再整備し、夏季の4月～11月までは平取町へ移住を考えている人への「お試し移住用住宅」として提供し、冬期の12月～3月は、自宅での生活が困難な高齢者や、障がい者世帯の一時居住用として活用するため、昨年度に内部を改修し、4月より供用を開始しました。また、この住宅は、家電製品や生

活用品、家具も設置され、すぐに生活ができるように整備されています。

### ☆利用対象世帯と家賃は

利用ができる世帯は、12月から3月までの期間に、「雪害等により居住または通院が困難と認められる高齢者または障がい者世帯」であり、家賃は1ヶ月1万2千円（光熱水費別）としています。条件に該当し、希望される場合は、11月末までにまちづくり課企画係へお申し込みください。



家電・生活用品も設置（光熱水費は実費）

## 平取町を情報網の整備が進んだ先進の町へ 光インターネットネットの加入が好調

町では昨年、国の補助金を活用しながら、町内ほぼ全域に情報通信の最高である光ファイバーを整備しました。

この光ファイバー網は、インターネット専用として通信事業者（NTT東日本）へ貸し出しされ、超高速インターネットサービスの提供が、平成23年4月より開始されました。

### ☆超高速（光）

### インターネット加入者の推移

道内のいくつかの市町村でも同じ時期に光ファイバーが整備され、超高速インターネットサービスが提供されています。

平取町では加入者が順調に増え、10月には700件を超え、町内4件に1件は加入しているという良好な運用になっています。

しかし、中には希望されていてもサービス提供エリアとならない世帯もあり、今後はこのような世帯にも提供できるよう通信事業者と協議を進めていくこととしています。

### ☆光インターネット活用

光ファイバーによる超高速通信は、多くの人が同時に通信するのに適しているため、町内でもIT講習会が開催されたり、高機能型携帯電話（スマートフォン）の普及も進んでいることから、より生活に浸透していると言えます。

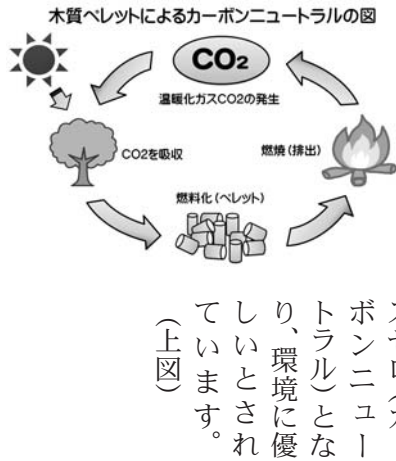
また、外出中におけるインターネット利用（モバイル）の需要も高まっており、特に人が多く集まる公共施設では、無料でインターネットができる『フリースポット』が、「ふれあいセンターびらとり」と、二風谷の「アイヌ文化情報センター」に整備されています。

このフリースポットについては、さらに利用可能な場所を増やすよう望まれているため、今後も検討しながら整備を進めていくこととしています。

### ☆光の加入の申し込みは

光インターネットの加入申し込みは、NTT東日本（左記）または、家電量販店などの取次代理店へお申し込みください。

☎ 0120・116116



私たちの生活に欠かせない灯油やガスは、いつか無くなる限られた資源であることは知られています。こうした化石燃料の消費を減らし、新しいエネルギーに代替していくことが重要視されていますが、その一つとして木材を原料とした木質ペレットを燃料とする「ペレットストーブ」が注目されています。

### ☆燃焼が環境に優しい？

石油も木質ペレットも燃焼することで温暖化ガス(CO<sub>2</sub>)を排出しますが、木質ペレットの原料である木材は、CO<sub>2</sub>を吸収しながら出来たものであるため、吸収と排出がバランスをとり、ポソニニュートラル)となり、環境に優しいとされています。

地球温暖化ガス(CO<sub>2</sub>)削減による環境保護

## ペレットストーブの導入経費を助成

### ☆導入経費の助成制度

環境に優しく、デザイン性に富んだものがあるなどの利点があるペレットストーブですが、本体の価格が30万〜40万と高く、普及の妨げになっているのが現状です。そこで町では、導入にかかる経費の一部を助成することで普及促進を図っています。補助の内容には条件もあります。補助額を最大で20万円を限度。未使用品(新品)に限る。購入先は問いません。

#### 【補助制度の概要】

- 導入にかかる経費の1/2ただし、補助額は最大で20万円を限度。
- 未使用品(新品)に限る。
- 購入先は問いません。



役場ロビーのペレットストーブ

節電が叫ばれる今、一番注目されている新エネルギー

## 住宅用太陽光発電システムの導入助成

### ☆平取町の導入助成制度

私たちが普段使っている電気は、自然の力を利用したり、化石燃料を燃やしたりなど、さまざまな方法で作られ、家庭まで届けられています。

しかし、昨今は化石燃料の高騰や、原子力発電所の稼働停止などを起因として電気に不安が生じています。

そこで、新たな電気を作る材料として、太陽の光を電気に変える太陽光発電システムが注目されています。

### ☆身近にある太陽光発電

太陽光発電は、実は古くからあり、私たちの身近なところでは電卓なども光による発電の仕組みで動いています。家庭用電力として使うには、光で発電する板(パネル)が家庭の電気を補うまでの発電量ではなかったため、導入が現実的ではありませんでした。

しかし、近年の技術向上により発電量が増加しながら価格も下がり、家庭においても導入費用が現実的な水準まで下がってきました。

また、太陽光で発電した電気は、電力会社が買い取る(売電)ため、電気代を節約することができます。

### ☆平取町の導入助成制度

町では、太陽光発電システムの普及促進を図るため、昨年より導入経費の助成を行っています。ご家庭において導入を検討されている場合は、まちづくり課までお問い合わせください。

#### 【補助制度の概要】

- システムの発電出力1kw当たり7万円(但し20万円を限度)
  - 出力合計10kw未満のもの。
  - 電力会社と受給契約するもの。
  - 未使用品(新品)に限る。
- ※太陽光発電を勧誘する業者の電話にご注意ください。



日照が多い平取町は条件が良い

# まちの広場

(すずらんのまち びらとり)



## 輸送繁忙期の交通安全を啓発 振内テント作戦 振内自治会 (10/13)

秋の輸送繁忙期を迎え、交通安全への思いを込めて、今年も振内自治会がテント作戦を実施しました。

当日は国道237号線沿いを走るドライバーに、振内地区の交通安全指導員6名、振内婦人防火クラブ7名、警察署の方々に交通ルールの遵守、マナーの実践を呼びかけながら、啓発品を手渡しました。

## 明治時代の道のを今、歩く イザベラ・バードの道を歩く会 (10/13)

イザベラバードの道を進む会では、日高町富川の門別図書館郷土資料館周辺から、平取町義経神社までの約15kmの道のを「イザベラバードが進んだ沙流川流域」として、歩く会を開催しました。

秋晴れのこの日、札幌市など町外の参加者35名は、フットパスをしながら、日高町から紫雲古津川向大橋と、義経神社に建てられた解説板を經由し、明治時代に訪れたイザベラ・バードへの想いを馳せながら、その足跡を進りました。



### ✦フットパスコースの案内標識（サイン）とガイドマップを作成しました✦



限定100部のガイドマップ

進む会では、このフットパスコースに28基の案内標識を設置しました。

また、誰にでも手軽にフットパスが楽しめるよう、航空写真を使ったガイドマップも作成しています。

マップには、イザベラバードの解説、ルート of 解説をしており、町内では「役場」「図書館」に限定100部ずつ設置していますので、詳しく知りたい！歩いてみたい！という方は、お早めに取得ください。



## 農作業を通じ、運命の出会いを！

平取町農村体験イベント（10/13）

平取町農村体験イベント実行委員会が主催になり、この日、札幌市を中心とした未婚女性 12 名が、運命の出会いを求めてイベントに参加しました。

町からも、農業青年が歓迎し、1泊2日の交流会が行われました。

野菜の収穫、釣り、バター作りを体験し、男性が女性をエスコートしての楽しいイベントに、自然と参加者同士の交流が深まったようです。

将来のパートナーに発展するといいですね。

## 暖かい声援、拍手。心に残るひととき

平取養護学校学習発表会・高等部祭（10/21）

養護学校では、生徒と教師、関係者みんなが心をこめて、制作・練習を重ねてきた、学習発表会・高等部祭が行われました。

小学部では、児童がゆかいな動物たちに姿を変え、鉄棒やよさこい。中等部では、感動的な舞台とカーヴィーダンス、器楽などが披露されました。

高等部祭は、「て～つなごう・つながろう」をテーマに歌、模擬店、製品販売と、一人一人が精一杯に頑張る姿に、保護者をはじめ来場者の心が魅了されました。



## 秋の森林に季節の移ろいを感じて

2012 にぶたに湖周辺自然観察会（10/27）

にぶたに湖周辺の自然を散策する観察会に、町内外の親子連れなど約 60 人が参加しました。

観察会では紅葉の進んだイオルの森に入り、約 500 本のオヒョウニレを植樹しました。植樹の後は、富良野市を拠点に活動している写真家の石黒誠氏に、秋のカツラの木は甘い匂いに包まれることなど、楽しく教えていただきました。

森では木々の葉も落ちはじめ、もうすぐ訪れる冬を教えてくれているようでした。

## 平取ダムの早期完成を！！

平取ダム建設事業 総決起大会（11/5）

平取ダムは、平成 21 年 10 月より、本体工事が凍結され、沙流川総合開発事業の主目的である洪水調節機能も、十分に発揮されておらず、流域の安全確保が今も厳しい状況にあります。

この日、平取ダムの早期完成を目指す決起大会がふれあいセンターで開かれ、町民約 200 名が参加しました。

決起大会では、地元国会議員、道議会議員より支援の言葉をいただき、洪水の脅威から解放され、安心して生活のできる流域の未来を要望する決議がなされました。

